

運用報告書（全体版）

第5期

（決算日：2019年6月17日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（設定日：2016年12月29日）
運用方針	この投資信託は、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要運用対象	主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」及び「FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

SBIスリランカ短期国債ファンド （年2回決算型）

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIスリランカ短期国債ファンド（年2回決算型）」は、2019年6月17日に第5期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<http://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		期中騰落率	投資信託 組入比率	純資産 総額
		税分	込配			
(設定日)	円		円		%	百万円
2016年12月29日	10,000		—	—	—	142
1期(2017年6月19日)	9,586		100	△3.1	98.2	280
2期(2017年12月18日)	9,917		200	5.5	97.5	250
3期(2018年6月18日)	9,565		200	△1.5	98.8	245
4期(2018年12月17日)	8,874		200	△5.1	97.6	209
5期(2019年6月17日)	8,678		200	0.0	94.8	196

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。また、期中騰落率は、各期末の基準価額（税込み分配金含む）を前期末基準価額（分配落）で除して算出したものです。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドは主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

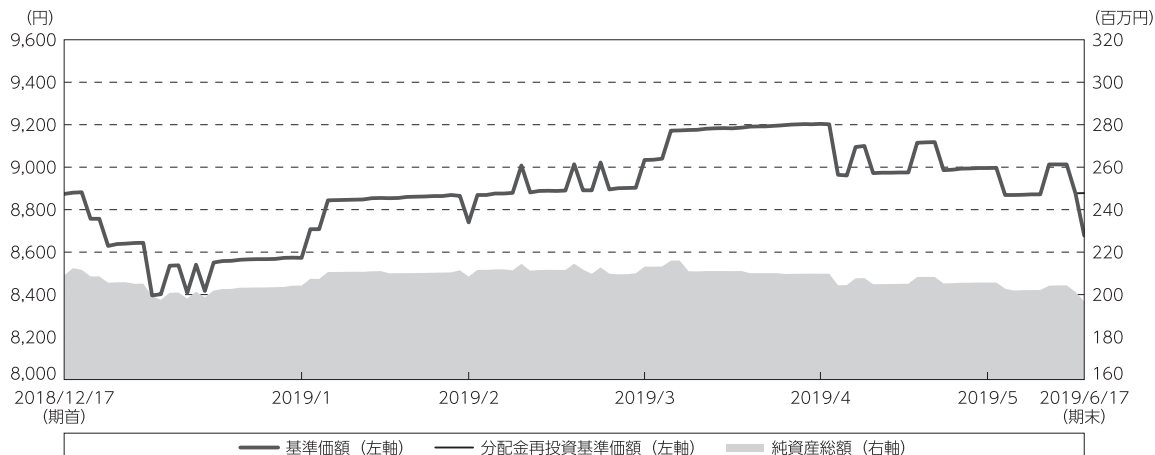
年月日	基準価額	基準価額		投資信託 組入比率
		騰	落率	
(期首)	円		%	%
2018年12月17日	8,874		—	97.6
12月末	8,643		△2.6	95.3
2019年1月末	8,573		△3.4	95.0
2月末	8,740		△1.5	95.1
3月末	9,034		1.8	96.3
4月末	9,204		3.7	96.0
5月末	8,996		1.4	95.8
(期末)				
2019年6月17日	8,878		0.0	94.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2018年12月18日から2019年6月17日まで）

○基準価額等の推移



期首：8,874円

期末：8,678円（既払分配金（税込み）：200円）

騰落率：0.0%（分配金再投資ベース）

- (注1) 当ファンドは主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首（2018年12月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、2019年初にかけて下落しましたが、2月以降上昇に転じ、小幅な上昇に留まりました。2018年12月は、米国と中国の関係悪化への懸念が高まり、投資家がリスク回避姿勢を強め外国為替市場で急速に円高が進んだこと等から、基準価額が下落しました。年明け以降は、スリランカの国内経済や金利環境を背景とした高利回りに加えて、外国為替市場で円安が進み、4月下旬に期中の高値を付けました。しかし、その後にスリランカ国内で発生した爆発の影響は限定的となったものの、米国や欧州で利下げ観測の高まりとともに再び円高が進んだことや、国内景気の鈍化懸念から、緩やかな下落基調となりました。当ファンドの基準価額は期を通じて+0.05%上昇（分配金再投資ベース）の8,678円で期末を迎えました。

○投資環境

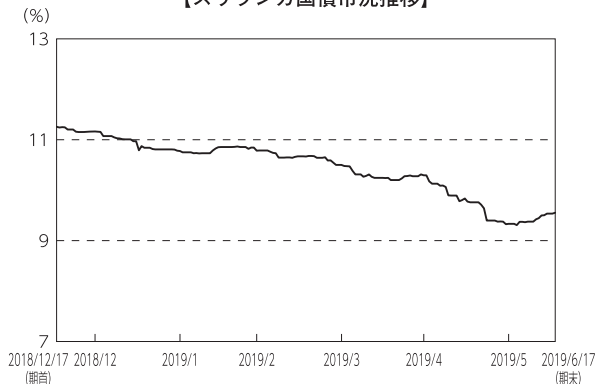
※以下のコメントの内容は、SBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

【スリランカ国債市況】

期の前半は、スリランカ短期国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。スリランカ財務大臣と国際通貨基金（IMF）クリスティーヌ・ラガルド専務理事の面談が行われ、スリランカ経済の構造改革とIMFからの継続的な支援が確認されたことが市場で好感されました。

期の後半も、スリランカ短期国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。スリランカでは、4月のイースター（復活祭）の最中に教会と高級ホテルで爆発が起き、多数の死傷者が発生しました。スリランカ経済は、GDPの約5%を観光収入に依存していることから景気への影響が懸念され、5月30日の金融政策会合では政策金利の0.50%引き下げが実施されました。

【スリランカ国債市況推移】



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
※国債利回りは2年国債利回りを使用しています。

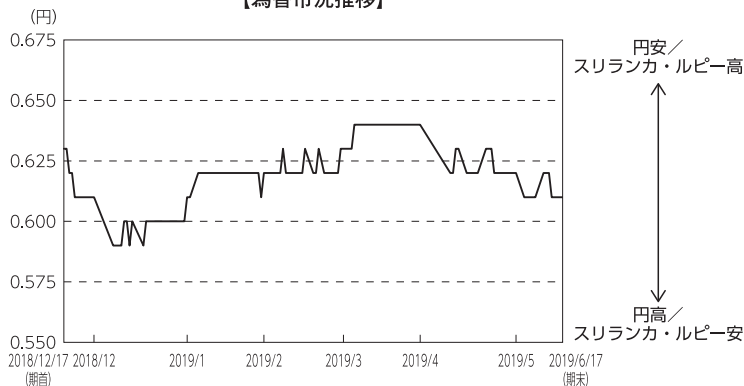
【為替市況】

期の前半は、円安基調となりました。金融市場の変動等の影響を受けて、年初に円が主要通貨に対して急上昇しましたが、その後は緩やかな円安基調となりました。また、米国利上げ懸念の後退を受けて、スリランカ・ルピーなどの新興国通貨が堅調に推移しました。

期の後半は、円高基調となりました。スリランカ・ルピーは対米ドルでレンジ内での動きとなったものの、米金利先安観を受けた円高の影響を受けました。

期を通じてみると、スリランカ・ルピーは円に対して、おおむねレンジ内で推移しました。

【為替市況推移】



※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

スリランカの短期国債等（国債、政府保証債、政府機関債）及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

なお、直近5月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

ポートフォリオ構成

平均残存期間（年）	0.2
平均修正デュレーション（年）	0.2
平均クーポン（%）	10.60
平均直接利回り（%）	10.57
平均最終利回り（%）	8.61
平均格付け	B

資産別構成

債券	81.4%
現金等	18.6%

(注) 現金等には信託報酬及び為替ヘッジに伴う含み損益等も含まれます。

- (注1) 平均格付とは、基準日時点での本ファンドの組入投資信託証券にかかる信用格付を加重平均したものです。そのため、本ファンドにかかる格付ではありません。
格付はS&P、ムーディーズ、フィッチの高いものを使用しています。
- (注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標です。金利変動に対する債券価格の反応度（リスクの大きさ）を表しています。なお、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。
- (注3) 最終利回りは、債券購入日から償還日までに得る受取利息や償還差損益（額面と購入価額の差）等、合計額が投資元本に対して1年当たりどの程度となるかを示すものです。
- (注4) クーポンは額面金額に対する単年での利息の割合を表します。
- (注5) 平均直接利回りは平均時価単価に対する平均クーポンの割合です。

※上表については、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社の資料を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

<FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは主としてSBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社が実質的な運用を行う「SBI bonds スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口(元本10,000円)当たり200円(税込み)の収益分配を行うことといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第5期
	2018年12月18日～ 2019年6月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	200 2.253%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	233

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

当該投資信託を運用している、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社は、以下のようコメントをしています。

スリランカでは、利払い費用等を除く基礎的財政収支（プライマリーバランス）が黒字になるなど財政改革の成果が表れてきております。国内爆破事件の影響から景気は減速する見込みですが、貿易赤字の削減やインフレ上昇率の低下がファンダメンタルズの安定化につながると考えられます。

債券市場においては、中央銀行の金融緩和姿勢や改善に向かうファンダメンタルズを背景に、スリランカ短期国債利回りは安定的に推移することが見込まれます。

為替市場においては、米ドル／円におおむね連動するスリランカ・ルピー／円が、主に米ドルの影響を受けつつも、レンジ内で推移するものと見ています。

こうした環境下、当ファンドのパフォーマンスは短期的には為替市場の影響を受けて変動する局面も想定されますが、長期的にはスリランカ短期国債の相対的に高いインカム収益を中心にファンドの収益が積み上がっていくことを想定しています。

運用においては、主にスリランカ現地通貨建て短期国債での運用を継続する方針です。一方、満期を迎える銘柄については、他の短期国債へ再投資する方針です。

<FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等（短期公社債及び短期金融商品を含みます。）を中心に投資を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2018年12月18日～2019年6月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 26	% 0.293	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.054)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.226)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	33	0.367	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(9)	(0.104)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(23)	(0.263)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	59	0.660	
期中の平均基準価額は、8,865円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2018年12月18日～2019年6月17日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	口	千円	口	千円
		7,331,698	6,222	22,181,189	19,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月18日～2019年6月17日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 6	百万円 6	% 100.0	百万円 19	百万円 19	% 100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2019年6月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	235,457,406	220,607,915	185,553	94.3
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	1,004,319	1,004,319	994	0.5
合 計	236,461,725	221,612,234	186,547	94.8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2019年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 186,547	% 91.5
コール・ローン等、その他	17,341	8.5
投資信託財産総額	203,888	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	203,888,452
コール・ローン等	9,340,659
投資信託受益証券(評価額)	186,547,793
未収入金	8,000,000
(B) 負債	7,105,036
未払収益分配金	4,535,140
未払解約金	1,197,330
未払信託報酬	609,867
未払利息	25
その他未払費用	762,674
(C) 純資産総額(A-B)	196,783,416
元本	226,757,044
次期繰越損益金	△ 29,973,628
(D) 受益権総口数	226,757,044口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,678円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額	235,524,445円
期中追加設定元本額	13,925,150円
期中一部解約元本額	22,692,551円

○損益の状況 (2018年12月18日～2019年6月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	6,033,566
受取配当金	6,038,032
支払利息	△ 4,466
(B) 有価証券売買損益	△ 4,520,395
売買益	395,938
売買損	△ 4,916,333
(C) 信託報酬等	△ 1,372,965
(D) 当期損益金(A+B+C)	140,206
(E) 前期繰越損益金	△20,352,704
(F) 追加信託差損益金	△ 5,225,990
(配当等相当額)	(1,578,257)
(売買損益相当額)	(△ 6,804,247)
(G) 計(D+E+F)	△25,438,488
(H) 収益分配金	△ 4,535,140
次期繰越損益金(G+H)	△29,973,628
追加信託差損益金	△ 5,225,990
(配当等相当額)	(1,578,257)
(売買損益相当額)	(△ 6,804,247)
分配準備積立金	3,714,812
繰越損益金	△28,462,450

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,660,601円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,578,257円)および分配準備積立金(3,589,351円)より分配対象収益は9,828,209円(1万口当たり433円)であり、うち4,535,140円(1万口当たり200円)を分配金額としております。

<ご参考>

主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)
形態	国内投資信託
運用目的・ 運用方針	<ul style="list-style-type: none"> スリランカの短期国債等(国債、政府保証債、政府機関債)及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。 債券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。 重大な投資環境の変化が生じた場合には、信託財産の保全の観点から、委託会社の判断により主要投資対象への投資を大幅に縮小する場合があります。 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資割合は、転換社債の転換及び新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。)の行使等により取得したものに限り、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。 原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
信託期間	原則として無期限(設定日:2016年12月30日)
決算日	毎月7日(休業日の場合は翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し年0.3888%(税抜:年0.36%)
委託会社	SBI ボンド・インベストメント・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2019年6月17日現在入手している最新（2018年11月7日現在）の状況です。

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期末 (平成29年11月7日現在)	当期末 (平成30年11月7日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	69,755,183	61,027,328
国債証券	993,252,383	758,610,778
未収利息	15,634,019	20,243,028
前払費用	5,701,885	1,925,042
その他未収収益	159,443	147,228
流動資産合計	1,084,502,913	841,953,404
資産合計	1,084,502,913	841,953,404
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	6,032,854	4,261,245
未払受託者報酬	26,623	21,698
未払委託者報酬	292,866	238,678
未払利息	200	150
その他未払費用	20,476	21,970
流動負債合計	6,373,019	4,543,741
負債合計	6,373,019	4,543,741
純資産の部		
元本等		
元本	1,096,882,590	946,943,382
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△ 18,752,696	△109,533,719
（分配準備積立金）	7,331,947	21,210,382
元本等合計	1,078,129,894	837,409,663
純資産合計	1,078,129,894	837,409,663
負債純資産合計	1,084,502,913	841,953,404

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期間		当期間	
	自 至	平成28年12月30日 平成29年11月7日	自 至	平成29年11月8日 平成30年11月7日
営業収益				
受取利息		58,082,389		88,860,124
有価証券売買等損益		12,968,256		3,250,176
為替差損益		△30,734,402		△117,844,200
その他収益		192,720		262,692
営業収益合計		40,508,963		△25,471,208
営業費用				
支払利息		64,182		39,994
受託者報酬		267,418		321,157
委託者報酬		2,941,505		3,532,627
その他費用		2,352,004		3,573,731
営業費用合計		5,625,109		7,467,509
営業利益又は営業損失(△)		34,883,854		△32,938,717
経常利益又は経常損失(△)		34,883,854		△32,938,717
当期純利益又は当期純損失(△)		34,883,854		△32,938,717
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は 一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)		1,590,113		505,802
期首剰余金又は期首欠損金(△)		—		△18,752,696
剰余金増加額又は欠損金減少額		19,135,644		13,793,768
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は 欠損金減少額		19,135,644		13,793,768
剰余金減少額又は欠損金増加額		26,353,186		3,688,662
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は 欠損金増加額		26,353,186		3,688,662
分配金		44,828,895		67,441,610
期末剰余金又は期末欠損金(△)		△18,752,696		△109,533,719

(3) 有価証券明細表

株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄名	利率 (%)	償還日	券面総額	評価額	備考
国債証券	スリランカ ・ルピー	10.75 Sri Lan 19 A 20190115	10.75	2019/1/15	150,000,000	150,312,165	
		10.6 Sri Lanka 19 20190701	10.6	2019/7/1	194,000,000	194,838,468	
		10.6SRI LANKA GVT 190701	10.6	2019/7/1	415,000,000	416,793,630	
		10.6SRI LANKA GVT 190915	10.6	2019/9/15	405,000,000	405,149,242.50	
	スリランカ・ルピー 小計				1,164,000,000	1,167,093,505.50 (758,610,778)	
合計					758,610,778 (758,610,778)		

(注1) 小計の欄における()内の金額は、邦貨換算額であります。

(注2) 合計金額欄の記載は、邦貨額であります。()内の金額は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入時価比率	合計金額に 対する比率
スリランカ・ルピー	国債証券 4銘柄	90.59%	100.00%

(注) 組入時価比率とは、純資産額に対する比率であります。

■ F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2019年6月17日現在入手している最新（第8期決算日（2018年9月25日現在））の状況です。

■ 1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2017年9月26日~2018年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,930円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投 信 会 社)	(11)	(0.108)	
(販 売 会 社)	(1)	(0.011)	
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	
(b) そ の 他 費 用	0	0.005	
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	(b)その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(そ の 他)	(0)	(0.002)	
合 計	14	0.145	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 組入資産の明細 親投資信託残高

	当期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
短期金融資産 マザーファンド	千口 5,988	千口 9,085	千口 9,210	千円 9,210

(注) 親投資信託の当期末における受益権総口数は8,059,144千口です。

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
短期金融資産 マザーファンド	千円 9,210	% 99.9
コール・ローン等、その他	10	0.1
投資信託財産総額	9,220	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況 (2018年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	9,220,056円
コール・ローン等	9,285
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	9,210,735
未 収 入 金	36
(B) 負 債	4,862
未 払 信 託 報 酬	4,715
そ の 他 未 払 費 用	147
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	9,215,194
元 本	9,289,891
次 期 繰 越 損 益 金	△74,697
(D) 受 益 権 総 口 数	9,289,891口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C / D)	9,920円

■損益の状況 (自2017年9月26日至2018年9月25日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△4,989円
売 買 損	△4,989
(B) 信 託 報 酬 等	△9,069
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△14,058
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△20,040
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△40,599
(配 当 等 相 当 額)	(353,075)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△393,674)
(F) 計 (C + D + E)	△74,697
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△74,697
追 加 信 託 差 損 益 金	△40,599
(配 当 等 相 当 額)	(353,010)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△393,609)
分 配 準 備 積 立 金	95,831
繰 越 損 益 金	△129,929

(注 1) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注 2) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注 3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

当ファンド（FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「短期金融資産マザーファンド（第11期決算日（2018年9月25日現在））」の組入資産の内容等の状況

■1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2017年9月26日~2018年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.003	(a) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(そ の 他)	(0)	(0.003)	
合 計	0	0.003	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■組入資産の明細

<国内(邦貨建)公社債>

(A) 債券種類別開示

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券	300,000	300,610	3.7	—	—	—	3.7
(含む投資法人債券)	(300,000)	(300,610)	(3.7)	(—)	(—)	(—)	(3.7)
合 計	300,000	300,610	3.7	—	—	—	3.7
	(300,000)	(300,610)	(3.7)	(—)	(—)	(—)	(3.7)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) ()内は非上場債で内書きです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	当 期 末	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券 (含む投資法人債券)					
第424回中部電力株式会社社債	2.0	100,000	100,306	2018/11/22	
第316回中国電力株式会社社債	2.075	100,000	100,167	2018/10/25	
第358回中国電力株式会社社債	1.702	100,000	100,137	2018/10/25	
合 計		300,000	300,610		

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 300,610	% 3.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,869,434	96.3
投 資 信 託 財 産 総 額	8,170,044	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況 (2018年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	8,170,044,750円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,867,177,742
公 社 債 (評 価 額)	300,610,000
未 収 利 息	2,257,008
(B)負 債	28,432
未 払 解 約 金	10,036
未 払 利 息	17,997
そ の 他 未 払 費 用	399
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	8,170,016,318
元 本	8,059,144,217
次 期 繰 越 損 益 金	110,872,101
(D)受 益 権 総 口 数	8,059,144,217口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	10,138円

■損益の状況 (自2017年9月26日至2018年9月25日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△8,436,303円
受 取 利 息	6,437,515
支 払 利 息	△14,873,818
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△6,423,000
売 買 損	△6,423,000
(C)そ の 他 費 用	△598,985
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△15,458,288
(E)前 期 繰 越 損 益 金	110,791,492
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	399,859,490
(G)解 約 差 損 益 金	△384,320,593
(H) 計 (D + E + F + G)	110,872,101
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	110,872,101

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。